



# 二塚小だより

平成29年7月

学校だより

高岡市立二塚小学校

## 校舎を磨く、心を磨く

教頭 長原 史明

吹く風にいよいよ夏めいた気配を感じるころとなりました。

さて、7月1日（土）にふるさとクリーン大作戦がPTAの生活保健委員会の企画で行われました。あいにくの雨で校舎内の清掃になりましたが窓ガラス、廊下側の高窓、黒板の上など子供たちが普段できない場所をきれいにさせていただきました。PTA父の会の方には雨具かけのペンキ塗りをしてくださり、児童玄関が明るくなりました。

多くの保護者の方に参加していただいたおかげで学校がとてもきれいになりました。お父さんとお子さんでトイレの手洗い場を一生懸命掃除しておられた姿や床の汚れを親子で何度も何度もこすって落とそうとしている姿などから、親子で共に汗をかきながら働くことの大切さを感じました。

学校では今年4月から「黙働清掃」に取り組んでいます。黙働清掃とは、清掃時間全員が黙って清掃することです。黙働清掃では次の3つことをねらって行っています。

### 「我慢する心」

清掃時間は不必要なことはしゃべらない、集中して取り組む。話したいのを我慢して黙々と清掃することは、時と場をわきまえて行動することにつながります。落ち着いた環境の中で活動することは、清掃時間だけでなく学習中の規範意識も高めていくことにもなります。



### 「気付く心」

たとえ自分の仕事が早く終わっても、清掃は終わりの時間まで行うようにしています。そうすることで自分の仕事以外に、新たに仕事を見つけて行動するようになります。

子供たちの活動の様子を見ていると、清掃場所を見回してきれいにしたらよいところを見つけて清掃したり、何度も同じところを繰り返し隅々まできれいにしたりしています。決められたことをするだけの清掃から自分で気付いて行動する清掃になってきています。

### 「思いやりの心」

困っている人や大変そうな人を見つけて手伝ったり、友達のがんばりを見付けたりする心を清掃時間でも育てたいと思います。清掃は縦割りの班を作って行っています。

低学年が重い机を動かそうとしているのを見て、そっと手を貸す、水の入った重いバケツと一緒に持つなど優しい様子を見ることが出来ます。静かな環境の中の活動だからこそ、困った人への気付きや友達のがんばりを見付けることが出来ます。

きれいな学校はそこに生活する子供たちの心を映すものです。これからも黙働清掃を通して校舎をきれいにするだけでなく、子供たちの自主性や協調性などの心も磨くようにしていきたいと考えています。

## 今後の予定（8・9月）

8. 3 1（木）始業式、給食開始	1 0（日）資源回収②
9. 1（金）避難訓練、ベルマーク収集	1 5（金）学習参観、家族学級
アルミ缶回収（～10日）	1 8（月）敬老の日
6（水）連合運動会（雨天順延）	2 3（土）秋分の日
9（土）高岡市小・中学校科学展覧会（～10日）	3 0（土）PTA親子奉仕活動

## あこがれ

生徒指導主事 上田 伊通子

雨の日の、児童玄関。雨合羽を卒業し、4月から傘さし登校になった2年生も、上級生と並んで、慣れた手つきで傘を片付けます。

- ① ひさしの下でグラウンドに向かって立つ。
- ② 前に人がいないのを確かめてから、傘を閉じたり開いたりを数回繰り返して、水滴を飛ばす。
- ③ 傘を閉じて先端を下に向け、トントンと軽く当てて、水が落ちるのを待つ。
- ④ 静かに傘を巻いて、留める。



3年前、私がこちらに赴任した時には、この光景を見て感心しました。美しい所作だなと思いました。上級生がしているのを見て、小さい学年の子たちは覚えていくのですね。

「人を動かすのは、『あこがれ』である」と、本で読みました。その「あこがれ」の対象とは、偉人伝やテレビだけでなく、それまでに接した人の中からも見出すものです。「あんな上級生になりたい」「私もできるようになりたい」という気持ちが「やる気」につながります。小さい学年の子たちは見えています。5, 6年生には、あこがれられる先輩になってくれることを期待しています。私たち、大人も同様ですね。

集団下校の時、農作業中の地域の方に「こんにちは！」と声をかけた6年生の後に、下級生も「こんにちは！」と続けました。うれしい姿でした。

## スポーツ (Sport) とは、港 (port) からの出発 (Start) = 出港

行き先は『あ・い・う・え・お』

体育主任 斉藤 克義



5月に無事、運動会を終えることができました。先月は、体力テストを行い、プール開きを終えていよいよ水泳シーズンを迎えました。

子供の体力低下が言われている昨今。当校の体力テストの結果も気になるところです。では、どうするかという話は後にしまして、表題です。

スポーツの語源は、出港という意味合いから来ていて、それは、俗世間、浮世のしがらみからの出港なのだそうです。つまり、スポーツのルールと自分の運動能力が自分を制限するだけで、後は何ものからも自由であるのがスポーツで、日常を離れてそういう自由な場へと向かう様を言っているのだそうです。

では、今日のスポーツは本当にそうになっているのでしょうか。体を鍛える面が強調される日本人のスポーツの感覚は『かきくけこ』だと言われます。

すなわち、『か』たい	これを	『あ』かるい
『き』つい		『い』ごこちいい
『く』るしい		『う』れしい
『け』らい (上下関係)		『え』がお
『こ』わい		『お』もしろい



の要素が増えるように、体育の学習にも取り組み、それによって、体を動かすって楽しいなあ、もっと上手になりたいなあというよい循環が生まれ、体力も向上すると思います。